

総務常任委員会 行政視察報告

(委員長 菊池 民彌)

●日程
平成24年7月23～26日



【視察研修先】

京都府京丹後市
京都府綾部市
兵庫県宝塚市

【視察研修テーマ】

- ◆京丹後市の議会改革と議会基本条例について
- ◆京丹後市の行財政改革について

- ◆綾部市の水源の里条例とその概要について
- ◆宝塚市の行財政改革について

個々のテーマの研修内容の詳細については、紙面の都合上省かざるを得ないが、研修初日の京丹後市は平成の大合併で遠野市より1年半ほど前に誕生し、農林漁業・工業・観光業等を基盤産業とした市で、「丹後ちりめん」などが有名である。2年前に日経リサーチ社を通じ全国784市・23区の議会を対象に実施したアンケート調査で、議会改革度全国No.1となったことから先進地の議会改革の取り組みや経緯・事例について学び、開かれた議会を目指して本市が6月議会で制定した議会基本条例のこれから

のあり方について、「議会活性化特別委員会」の改革の検証等をする取り組みなど、参考とするところが多かった。そして、本委員会からの事前の財政健全化や第3セクターの経営改革等3つの質問事項に対しても、丁寧な回答を頂いたことに感謝申し上げたい。



また、初日の京丹後市と最終日に研修した宝塚市は、宝塚音楽学校・大劇場・手塚治虫記念館などで有名な芸術文化都市で、歳入に占める市税の割合が51%に達するなど、産業形態や人口・財政規模も大きく異なるが、厳しさを増すことでは全国共通の課題である行財政改革の多様な取り組みについて、更には2日目に、グンゼ発祥の地であり、京阪神地域と日本海地域を繋ぐ交通の要衝地である綾部市では、市北東部の中山間地域における過疎地活性化のための水源の里条例の概要について説明を受け、貴重な公費を使わせていただき、3日間の視察研修を実施することができた。

た近畿地方の気候や風土・産業等、特徴の異なる3ヶ所に、事務局を加え、計5名の少人数での行政視察となった。研修内容はもちろんのこと、移動時間を含めた観光・産業・地場の空気に触れることが出来て、密度の濃い有意義な3泊4日の行政視察となった。委員一同この研修で学んだことを今後の議会活動を通じて、少しでも市民の皆さまに還元できるよう努めて参りたい。

